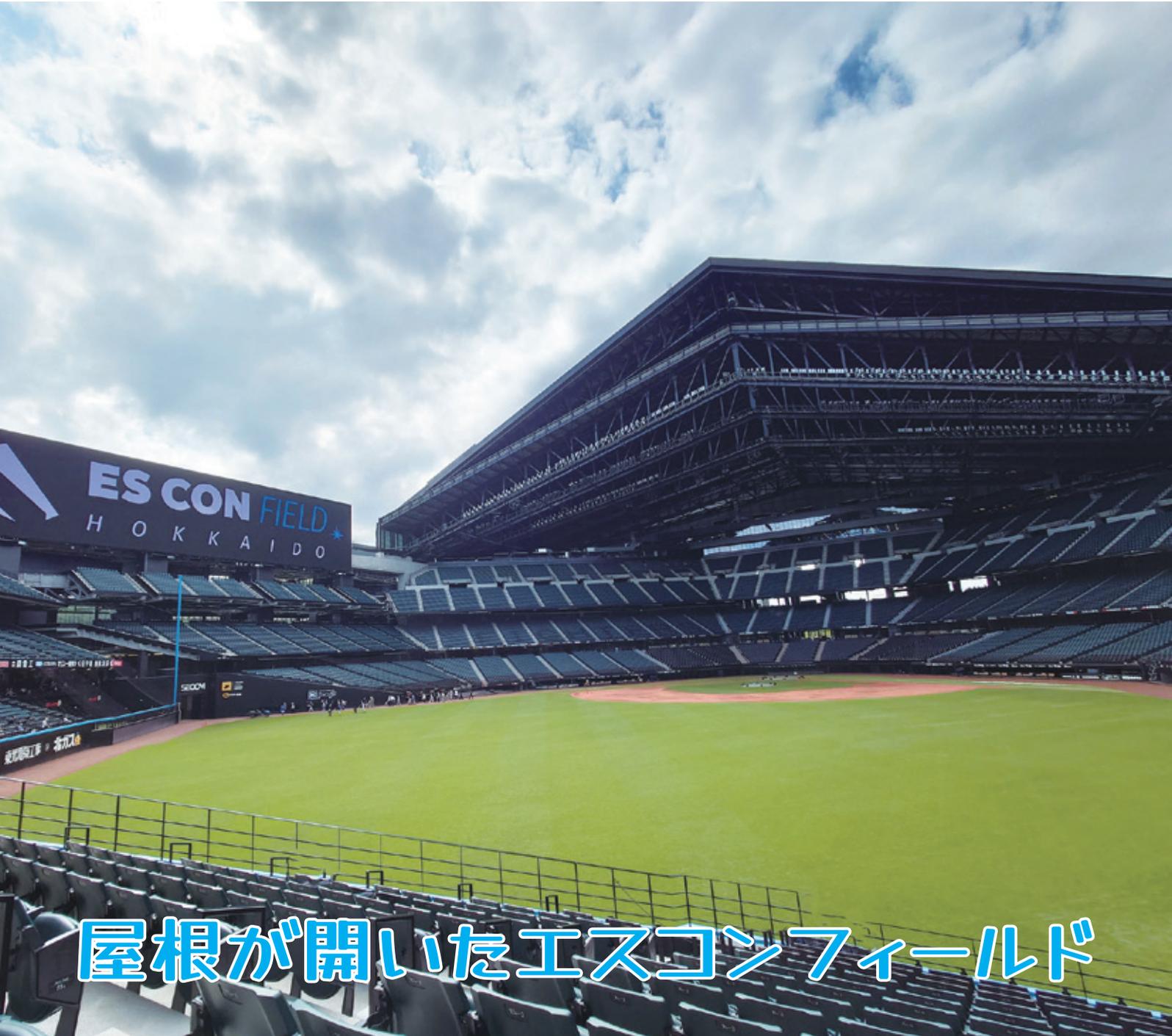


# 議会だより

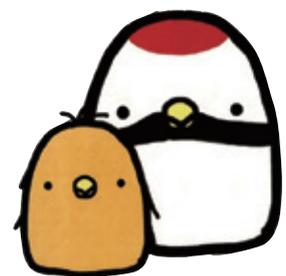
# つるい



## 屋根が開いたエスコンフィールド

### TOPICS

- 6月定例会の中身は? . . . . . P2
- 5議員が村政を問う! 一般質問 . . . . . P5
- 産業常任委員会 . . . . . P12



鶴居村マスコットキャラクター  
「つるぼー」

## ▶ 鶴居小学校の電気代高騰!?



板宏哉議員

鶴居小学校電気系ランニングコスト軽減計画案策定委託について、こちらの調査は407万円という少額ではない予算が当てられています、あらかじめ電気料金がどのくらい削減できそうかという見込みがあった上で行われるのでしょうか?

【管理課長】 今回の調査で削減目標は特に決めていません。

高騰する電気料金の中で、オール電化の鶴居小学校の電気使用量が膨れ上がっており、その原因は何かを探るのが目的となっています。

既存の電気設備に何か不具合が生じていないか、また冬場の暖房に関しても電気以外の設備を導入することによってランニングコストを削減できないかなどを調査いたします。



大津泰則議員

今回の軽減計画策定委託については、鶴居小学校以外にも中学校や他の公共施設でも応用が効く調査になるのでしょうか?

【管理課長】 今回は鶴居小学校に限定した調査になります。

村では昨年の7月まで新電力会社から電力を供給していましたが、8月以降、その新電力会社の撤退にともない、北電に切り替えたところ、極端に電気料金が上がりました。

節電には努めてきましたが、高騰に追いついていなかったため、電気による暖房設備を導入している鶴居小学校を調査したいと思います。



松井俊治議員

他の村内施設では電気代の調査などは検討しているのでしょうか?

【副村長】 現状では鶴居小学校の電気料金が年間2000万円を超えていますので、まずはここを調査することで、エネルギー転換できるかなどを含めて調査いたします。

他の施設については引き続き節電を心がけていきます。



松井洋和議員

## ▶ クラウドファンディングの活用!?

クラウドファンディングの活用について、鶴居サイクルスポーツフェスティバル以外に今後の予定で決まっている事業があれば教えてください。

【企画財政課長】 本年の2月からふるさと納税の仕組みを使いながら「ガバメントクラウドファンディング」というかたちで展開しており、地域活性化に資する事業を多くの人に応援していただきながら、村の一般財源の負担軽減をする目的のものになります。

今後も、地域振興に資する事業であったり、事業を営む方の事業拡大、新規分野に進出など、申請が上がってきたものに対して内部で審査をし、要綱規則に沿って順次対応していきたいと思っています。

## ▶ ふるさと納税関連経費

ふるさと納税・企業版ふるさと納税の寄附者を看板に掲示するとのことですが、寄附者が年々増えた場合、掲示期間はどのように考えているのでしょうか?

【企画財政課長】 看板に関しては擬木で作り、プレートを貼り付ける想定をしています。掲示する寄附金額は100万円以上に設定しており、昨年は企業版ふるさと納税で100万円の寄付をいただいた事業者が2件でした。期間は現段階では決めていません。可能な限り掲示を続けたいと思っています。

## 定例会のあらまし

第2回定例会は6月13日に開会し、14日に閉会しました。村長からの提出議案は26件で、内訳は報告3件、専決処分3件、条例案件1件、計画案件4件、人事案件10件、契約案件3件、補正予算1件、その他1件です。議員発議案は3件で、すべての議案が原案通り可決されました。一般質問では、5議員が11項目の質問で村政を問いました。



松井廣道議長

## 令和5年度各会計補正予算

会計別	補正額	総額	議決の内容
一般会計	6262万7千円	52億9018万2千円	全員賛成により可決

## ▶ 全国中山間地域振興対策協議会の予算増額!?

この事業に補正予算50万円計上されていますが、どういう理由で事業費が増額計上されたのでしょうか?

【産業振興課長】 8月23、24日の2日間で予定している全国中山間地域振興対策協議会の現地研究会ということで、全国各地から70名前後の参加を想定し、準備を進めています。

新たに協議会での議論や村の意向も含めて、全国からお迎えする会員に向けて、おもてなし環境整備や、参加者に対する記念品の贈呈、懇親交流会費用、村内旅館やホテルでの交流スペースの確保などにかかる経費、委託先である(株)むらづくり鶴居の実行経費を含めた増額計上です。



及川満浩議員

## ▶ 新規就農希望者の見込みは!?

新規就農者等対策補助金の補正が設定されていますが、現状として、新規就農の可能性のある人がいるのか、いないのかをお聞かせいただけますか。

【産業振興課長】 新規就農者の対策については、村の支援事業、農協からの同等の支援、そして国からも手厚い支援があります。村としては新規就農フェアの出展など、奨励していますが、残念ながら潜在的な新規就農者はいません。

村の基幹産業であることから危機感を持ちながら、これからも道内外に向けて人材確保の取り組みを盛んにしながら担い手・後継者の確保に努めていきたいと考えています。



吉田保博議員

## ▶ 牛乳消費拡大緊急対策事業

前回、同じ事業を行ったときに、店舗での在庫不足が発生していました。今回はスムーズに行き渡る対策は取っているのでしょうか?

【産業振興課長】 前回は、鶴居と幌呂のAコープ店舗で消費者が殺到し、一時的に商品の在庫不足が生じるという事態があったのは承知しています。

今回はそれらの実績を踏まえて農協に協力要請しています。



佐藤吉人議員

# 6月定例会審議した議案と結果

上程議案	賛成：○ 反対：×	結果	松井俊治	板宏哉	吉田保博	大津泰則	及川満浩	東隆行	佐藤吉人	松井洋和	松井廣道
<b>報告</b>											
鶴居村振興公社経営状況報告書の提出 令和4年度決算と令和5年度の事業計画の報告	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
株式会社むらづくり鶴居経営状況報告書の提出 令和4年度決算と令和5年度の事業計画の報告	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度一般会計繰越明許費繰越計算書 年度をまたぐ住民票等コンビニ交付サービス事業などを令和5年度に繰越す報告	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<b>専決処分</b>											
税条例等の一部改正 令和5年度税制改正に係る条例の一部改正	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国民健康保険税条例の一部改正 地方税法施行令の一部改正により関係する条例を改正	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度一般会計補正予算(第11号) 令和4年度の歳入歳出が確定したことによる1億3199万円の増額補正	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<b>条例の制定</b>											
廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正 主にし尿処理手数料を7kgあたり3.5円から6円に引き上げる一部条例	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<b>計画の変更</b>											
辺地総合整備計画の変更(中幌呂地区) 道営農道中幌呂7号線整備事業に、辺地債を借入するための計画	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
辺地総合整備計画の変更(支幌呂地区) 支幌呂10号線改修工事に、辺地債を借入するための計画	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
辺地総合整備計画の変更(上幌呂地区) 上幌呂浄水場配水池改修事業などに、辺地債を借入するための計画	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
辺地総合整備計画の変更(下久著呂地区) 道営農道下久著呂地区農道整備事業に、辺地債を借入するための計画	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<b>令和5年度補正予算</b>											
一般会計(第2号) 物価高騰対策村民くらし応援事業など総額6262万円の増額補正計上	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<b>人事案件</b>											
固定資産評価審査委員会委員の選任(松井基廣さん)	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
農業委員会委員の任命(水本梨佳さん)	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
農業委員会委員の任命(熊谷郁子さん)	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
農業委員会委員の任命(手塚信幸さん)	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
農業委員会委員の任命(明歩谷正志さん)	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
農業委員会委員の任命(齊藤 滋さん)	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
農業委員会委員の任命(塩越克哉さん)	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
農業委員会委員の任命(瀧澤一成さん)	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
農業委員会委員の任命(増田慶一さん)	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
農業委員会委員の任命(東 隆行さん)	全員賛成	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
<b>契約の締結</b>											
工事請負契約の締結(鶴居中学校大規模改修建築主体工事) 地域限定型一般競争入札による9億1256万円の契約を締結	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工事請負契約の締結(鶴居中学校大規模改修電気設備工事) 地域限定型一般競争入札による1億4113万円の契約を締結	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工事請負契約の締結(鶴居中学校大規模改修機械設備工事) 地域限定型一般競争入札による4億1030万円の契約を締結	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<b>その他</b>											
財産の取得(草刈装置購入) 随意契約により道路維持管理用草刈装置を1188万円で購入	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<b>議員発議</b>											
議会IT化・議員報酬等検討特別委員会の設置	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
<b>意見書の提出</b>											
防災・減災、国土強靱化対策の着実な推進を求める意見書	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
準抗告の申立て及び保釈請求における法令手続の見直しを求める意見書	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

(注) 議長は賛否を表明しません。賛否同数の場合のみ議長採決として表明します。

村長・教育長へ聞きたいこと

## 5人の議員が11項目の質問



# 一般質問

一般質問

- 佐藤 吉人 議員 P6**
  - ①野鳥撮影地の安全確保を
  - ②湿原展望台から温根内まで歩道設置を
  - ③通称「望鶴峡」にwebカメラ設置を
- 松井 俊治 議員 P7**
  - ①幌呂小学校統合・幌呂中学校統合に向けて
  - ②統合後の校舎利用に企業誘致を
- 吉田 保博 議員 P8**
  - ①学校統合後の幌呂地区の活性化は
- 板 宏哉 議員 P9**
  - ①今後の人口対策は
  - ②下幌呂のインターネット速度低下問題
- 及川 満浩 議員 P10**
  - ①電気料金の値上げ対策は
  - ②子どもたちへ継続した支援体制を
  - ③困難を抱える新入学児童への受け入れ体制は

一般質問とは、議員が村の行財政全般にわたって、執行機関(村長・教育長)に疑問点をただし、所信の表明を求めるものです。  
紙面の都合により、内容を要約して掲載しています。

# 野鳥撮影地の安全確保を

路肩を歩くカメラマンにヒヤリとする。



さとうよしひと 佐藤吉人 議員

## 村長 交通マナーの徹底を呼び掛ける

### 佐藤

最近カメラマンや野鳥愛好家からの人気スポットである、道道243号線鶴居どさんこ牧場裏手の野鳥観察および撮影地ですが、一昨年から役場で駐車場看板の設置や牧野管理事務所前を除雪していただき、最近はずいぶん危険駐車は少なくなっています。

しかし、今度は曲線道路を歩いているカメラマンが、通行中の車の前に突然出てきてヒヤリとすることがあるので、牧野管理事務所前から道道路肩を歩かなくとも見学地および撮影地に直接向かえるような工夫はできないものではないでしょうか。

一般質問 佐藤吉人

### 村長

見学者などに新たな危険事案が発生しているとするれば、何らかの対策が必要と考えますが、野鳥観察などで訪れる方々には、道路上での交通モラルの意識を持って行動していただくことが求められると考えます。

また、牧場の周辺は、良好な自然環境が維持される野生希少動物の生息地でもあり、生態系を乱すことなく環境の保全などに配慮することが求められる地域です。

現時点では、新たな通行場所を確保することは考えていませんが、交通安全の注意喚起や交通マナーの徹底を呼び掛けていくことが必要であると認識しています。

### 湿原展望台から

### 温根内まで歩道設置を

### 佐藤

道道53号線北斗展望台駐車場から温根内ビジターセンターまでの

4kmの区間は歩道がありません。歩道設置できないか伺います。

### 村長

北斗展望台から温根内ビジターセンターまでの区間の距離はおよそ4km、歩行時間で50分から1時間程度を要する距離と考えます。道路区間に観光などを目的とする歩道設置を検討するには、新たな歩道をどれほどの観光客などに利用してもらえるか未知数であることから、村としては、歩道設置を要請する根拠は少なく責任ある提案を北海道に求めることはできないと考えます。



通称「望鶴峡」から見た音羽橋

### 通称「望鶴峡」に Webカメラ設置を

### 佐藤

音羽橋を見下ろす「望鶴峡」からの光景は、今やカメラマン憧れの地でもあります。そこで、今年度末の11月～3月までの冬期間限定Webカメラの設置によるPRについて検討してみたいと思いますが、見解を伺います。

### 村長

本村の豊かな自然環境から生まれる資源の有効活用を図ることの重要性は理解しますが、冬期間のWebカメラの設置については整備当時の経緯から、これからも地域周辺への配慮が必要と考えています。こうしたことから、現時点では、村による設置の考えはないことをご理解いただきたく思います。

# 幌呂小学校統合・幌呂中学校統合に向けて

地域の学校を閉じるのは残念だが、教育環境の一層の充実を願う。



まついしゅんじ 松井俊治 議員

## 教育長 幌呂の子どもたちを転校生にはしないとの思いで

### 松井

今、村の人口も減少に向かおうとしています。

幌呂小学校、幌呂中学校の児童生徒数についても、今後さらに減少が見込まれることから、両校の保護者や地域の方々は、この度、鶴居小学校、鶴居中学校への統合を村長に要望しました。

歴史と伝統を重ねてきた地域の学校を閉じることは残念なことですが、子どもたちの教育環境の一層の充実を願うのが望です。

今後、教育委員会や学校が統合に向けて準備を進めることになるとは思いますが、統合に当たっては、児童・生徒へ

の十分な配慮が必要だと思います。

教育委員会や学校は、今後、統合に向けてどのように取り組んでいくのか伺います。

### 教育長

幌呂小学校、幌呂中学校の在籍児童生徒数の減少が見込まれるなか、昨年来、両校の保護者の皆様が、今後の学校の在り方について協議されている場に私も参加させていただきました。こうした意見交換や協議を重ねながら、保護者の皆様が、子どもたちのより良い教育環境を整えていくためには、閉校・統合はやむを得ないとの決断に至ったものと受け止めています。

今後、学校と十分に連携を図りながら統合に向けて準備を進めますが、統合を進めるには、計画的に児童・生徒の交流の機会を設けるなど、両校の児童・生徒への十分な配慮のもとで行うこととし、私としては、特に「幌呂の子ど

6

議会だよりついで No.173

### 学校統合後の 跡地利用は

### 松井

小中学校の統合後の学校施設や幌呂保育園の他、各公共施設や跡地などの利活用が今後の課題となります。

もたちを転校生にしない」という思いで、対応したいと考えています。

具体的な対応は、今後、各学校と協議しますが、周到な準備が必要となりますので、様々な工夫を凝らしながら、対応したいと考えています。

また、児童・生徒が安全・安心に通学でき、学業や部活動に支障が生じないよう、必要な環境整備にも取り組んでまいります。

いずれにしても、保護者、地域、学校関係者との共通理解を図りながら、ていねいに取り組みたいと考えています。

### 村長

企業誘致については、民間企業の誘致を積極的に進めてはどうかと考えますが、企業誘致や支援策について伺います。

企業誘致については、村の優遇策として過疎関連法による一定期間の固定資産税の免除や起業化支援等の補助制度がありますが、企業側の求めに感じます。土地条件や地域特性などが上手く合致することが求められ、乗り越えなくてはならない課題が多数あるものと考えます。

何より、地方などに進出を考える民間企業が存在することとが前提であるとともに、利益を追求する企業にとって、利点が得られる経営判断が成されなければなりません。

村としては、これらのことを考えながら、地域の思いを受け止め、企業誘致も選択肢の一つとして、幌呂地域を含む村の活性化策を探りたいと考えています。

7 議会だよりついで No.173





よし だ やすひろ 吉田保博 議員

# 学校統合後の幌呂地区の活性化は

今後の旧幌呂保育園の敷地を含めた施設全体の利用は。

村長 地域の思いを受け止めながら活性化を  
教育長 無償譲渡なら補助金返納は生じない

## 吉田

先日、幌呂地区活性化協議会が開催され、副村長と教育長、管理課長に出席いただき、幌呂小学校・幌呂中学校の在り方と統合した場合の跡地利用について協議しました。

この件については昨年の決算委員会で村長に質問しています。「幌呂地区の人口推移を考えると、子どもの人数減による学校の存続が課題になると考えるが、今後の村づくりについて伺います。」

村長答弁は「人口減少を食い止めるには雇用の確保が必要であり、企業の誘致などが大事である。テレワークなど、新しい可能性も探りたい。」

でありました。そこで、小学校・中学校の校舎・グラウンドの再利用も含めて、改めて村長の見解を伺います。

## 村長

先日、幌呂連合会、両校のPTAの連名により、幌呂小学校、幌呂中学校の統合に関する陳情を受けたところであり、統合には、その後の校舎跡地の活用などが課題になると理解しています。

幌呂地域の活性化のため、統合後の学校跡地の利活用は有効な手段の一つになると認識していますが、企業側の求めと跡地の条件が上手く合致しなければ誘致は進まず、乗り越えていかなければならぬ様々な課題が存在すると考えます。

しかし、校舎敷地内のグラウンドは一定程度の面積を有し、平坦に整備されており、体育館も屋内施設としては区割りの無い大きな床面積を有

していることから、企業側にとってその利活用は、開業費用の負担軽減につながるものと期待されます。

村としては、このような施設の特長や優位性などを理解し、今後、地域の思いを受け止めながら、企業誘致も選択肢の一つとして、幌呂地域を含む村の活性化策を探りたいと考えます。

## 吉田

校舎やグラウンドなどを再利用するには、補助金の制約などもあると思いますが、先進事例などがあれば伺います。

## 教育長

国の補助金の交付を受けて取得した財産の転用・譲渡などを行うには、法律の規定により、基本的には文部科学大臣の承認が必要となりますが、地方公共団体が、国庫補助事業完了後10年以上経過した建物などについて行う無償による財産処分については、

承認があったものとみなすなど、一部弾力的な取り扱いがされています。

幌呂小学校・幌呂中学校の建物は事業完了後10年以上経過しているため、無償で転用・譲渡する場合は、文部科学大臣への報告をもって財産処分が可能と見込んでおり、補助金の返納などを生ずることなく、手続きが行えると考えています。

次に、活用事例についてですが、文部科学省の調査によると、平成14年度から令和2年度までに発生した廃校施設で現存している7398校のうち、5481校が社会教育施設や社会体育施設などの公共施設のほか、体験交流施設や福祉施設、民間事業者が地元特産品の加工工場として活用したり、アトリエやミュージアムなどの文化・芸術施設、グランピングなどアウトドアが楽しめる施設など様々な用途で活用されている状況です。

# 今後の鶴居村の人口対策は

民間賃貸住宅建築や鶴居市街地宅地分譲のその先は。

村長 安心して暮らせる定住環境の充実に努める

## 板

鶴居村人口ビジョンに記載されている内容によると「2060年における総人口を2000人以上確保することを目標として、将来に向けての基本方針を通じて人口減少対策を推進していくこと」と書かれています。

既に終了している鶴居村民間賃貸住宅建設促進支援補助事業については、若い世代の住宅の選択肢が増えたことは、現在の利用状況から見ても良策だったと個人的には思っています。

今現在行われている市街地での分譲地の整備は見える動きではありますが、この先の対策として既に決まっている

こと、もしくは今後どのように考えているのか伺います。

## 村長

村では、これまで分譲宅地の造成事業をはじめ、個人住宅の建設や民間賃貸住宅建設などへの助成支援などによって、移住・定住施策を進め、一定程度の成果を確保してきたと考えています。

また、鶴居市街に個人住宅用の宅地を確保し、2年後の分譲開始を目的に準備を進めています。

さらに、下幌呂地区に整備計画を有する希の杜団地第二期以降の分譲宅地の整備時期などについても、現在検討中です。

今後も、地域の優位性などを生かしながら、「つるい未来創造プラン」(第5次鶴居村総合計画)の指針などに基づいて、村民皆さんが安心して暮らすことのできる定住環境の充実に努めていきたいと考えています。

# 下幌呂のインターネット速度が時間によって遅くなる

## 板

下幌呂の住民よりインターネットの速度が著しく低下する時間帯(特に夕方以降)があるという話を複数の世帯から聞いています。

今や現代人にとってインターネット環境というのはライフラインの一つと言っても過言ではないほど切り離せないものになってきているなかで、こうした状況に非常にストレスを感じている方もいるようです。

鶴居村はインターネットの世帯普及率が高いことでも知られる一方で、こうした現状があるとどうにかして、どのようにお考えでしょうか。

一般的にインターネットの回線速度が遅くなる原因として、平日や休日の夜7時以降の利用者が最も多い時間帯とされ、回線の混雑によって速度低下を招くことがあるとされています。

また、集合住宅などで通信回線の共有に原因があることをはじめ、利用先のプロバイダや通信機器の設定に起因することなどが挙げられます。

現在のところ、本村の光ケーブルで通信できる容量や利用できる件数などに支障がないことを確認しています。また、光ケーブルの分配方法や線の損傷などが原因となっていることが特定された場合は、通信事業者と調整のうえ、早急な対応に努めます。

また、今後ファイバー情報通信回線の容量などが不足する場合は、利用状況を検討しながら有効な改善策を検討したいと考えています。



いた 板 宏哉 議員

# 第2回臨時会

第2回臨時会を5月10日に開会しました。

今回は議員選挙後の初めての議会であるため、各選挙や選任を行いました。すべての議案が原案通り可決されました。

## 令和5年度各会計補正予算

会計別	補正額	総額	議決の内容
一般会計	1億2055万5千円	52億2755万5千円	全員賛成により可決

議会の構成	
議長 松井廣道	副議長 松井洋和
総務常任委員会 委員長 吉田保博 副委員長 松井俊治 委員 大津泰則 委員 及川満浩 委員 板宏哉	産業常任委員会 委員長 東隆行 副委員長 松井俊治 委員 松井洋和 委員 及川満浩 委員 板宏哉
広報広聴常任委員会 委員長 佐藤吉人 副委員長 板宏哉 委員 松井洋和 委員 松井俊治	議会運営委員会 委員長 松井俊治 副委員長 東隆行 委員 吉田保博 委員 佐藤吉人

上程議案	賛成：○ 反対：×	結果	松井廣道	松井洋和	佐藤吉人	東隆行	及川満浩	大津泰則	吉田保博	板宏哉	松井俊治
選任											
監査委員の選任（灰塚玲子さん）		全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○
監査委員の選任（大津泰則さん）		全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度補正予算											
一般会計（第1号） 主に鶴居中学校大規模改修事業の設計単価上昇などの計上		全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○
財産の取得											
除雪ドーザ購入（2579万5千円）		全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○

## 表紙の写真



7月4日に開催された全道議員研修会に参加したときに、北広島市のエスコンフィールドに立ち寄ったときの一枚です。  
この日は屋根が開いており、ちょうど天然芝に放水作業が行われていました。

議会だよりは要約されています。  
臨場感ある本会議場へお越しください。

議会の傍聴お待ちしております。  
次回定例会は9月12日(火)10時～役場2階(予定)



# 電気料金の値上げ対策は

6月から北電が電気料金を値上げするが、村の取り組みは。

## 村長 村民への支援を経済循環につなげる



おいかわみちひろ 及川満浩 議員

**及川** 家庭向け電気料金  
のうち道内の7割  
以上が契約する料金プラン  
「規制料金」について、北電  
が6月から値上げをしまし  
た。そこで、今後の村として  
の取り組みと課題について伺  
います。

① 村の経費削減策はどのよう  
に考えているのか  
② 住民の生活防衛対策も必要  
ではないのか  
③ 経営の厳しい酪農を含めた  
産業への援助はどの様に考え  
ているのか  
④ 低所得者や年金生活者など  
が多い公住のうちオール電化  
公住の冬の暖房費対策を考慮  
すべきでは

**村長** ①電気契約相手方  
の変更、各公共施  
設の徹底した節電に努めるほ  
か、北電が実施した「冬季節  
電プロジェクト」にエント  
リーし、約40万円の節電特典  
を受けるなど様々な取り組み  
を進めています。

② 村民1人当たり1万円相当  
の「村民くらし応援クーポン  
券」を配布することや非課税  
世帯への1世帯あたり3万円  
の「物価高騰対策支援給付金」  
を支給する関連予算を計上す  
るなど、全ての村民へ生活支  
援を行う考えです。

③ 厳しい酪農環境を支援する  
ため、村民一人2000円相  
当の牛乳購入券を配布するな  
ど、村民への経済支援などを  
通じて、地域内の循環に結び  
つけながら、間接的な支援に  
つなげる考えです。

④ 村の公営住宅や村有住宅の  
オール電化住宅への限定した  
対策は、現時点では考えてい  
ません。

**子どもたちへ継続  
した支援体制を**

**及川** 国は小学校に入学  
すると、主な子ど  
もの支援が厚労省から文科省  
に移行します。村も同様で福  
祉部門から教育委員会へ移行  
します。

しかし、子どもの成長を継  
続して見守る体制が重要な  
では無いかと考えますが村の  
支援体制について伺います。

**困難を抱える新入学児  
童への受け入れ体制は**

**及川** 困難を抱える新入  
学児童への学校の  
受け入れの考え方について伺  
います。

① 保育園との連携について  
② 学校側の障がい判定につ  
いて  
③ 年度内の指導体制の変更は  
考えられるのか

**教育長** ① 鶴居保育園  
や村の保健師  
と連携して障がいの状況など  
を把握し、特別支援学校、小  
学校の特別支援学級、小学校  
の通常学級などの「学びの場」  
の決定の準備をしています。

② 専門家による客観的な意見  
を参考にしつつ、保護者の意  
向を尊重して、就学時の「学  
びの場」を決定しています。

③ 子どもの学習ニーズと保護  
者の意向を尊重しながら、必  
要な対応を行います。

# ▶ 産業常任委員会所管事務調査 「シカによる被害状況と対策」

## 産業常任委員会

日時：令和5年6月6日(火)10:00-

場所：議員控室

出席委員：・委員長 東隆行  
・副委員長 松井俊治  
・委員 及川満浩  
・委員 松井洋和  
・委員 板宏哉

委員外：オブザーバ 松井廣道議長

説明員：産業振興課 課長 中尾義則  
地域おこし協力隊員 桂川祐介

調査事項：「有害鳥獣駆除事業」  
「村内のシカによる被害状況  
・対策・駆除実績・今後の対策他」

指標	推定値(平成29年度)
カラス被害金額	1,650千円
ドバト被害金額	0千円
キツネ被害金額	0千円
タヌキ被害金額	0千円
タンチョウ被害金額	809千円
エゾシカ被害金額	99,897千円
ヒグマ被害金額	1,000千円
ミンク被害金額	500千円
合計	103,956千円

平成30年作成：鶴居村鳥獣被害防止計画より



繁殖率を元に計算すると、鶴居村では年間2000頭のシカが増える可能性があります。このことから駆除するなどの対策が必要です。前年度の年間の駆除頭数は約2000頭(事故死、自然死なども含む)となっています。

▼現在の駆除方法の割合は？  
銃器が95%、罠などは2%程度となっています。

現在、銃器の弾丸の高騰、在庫不足により入手困難な状況が続いており、例年に比べると狩猟による駆除が今後減る懸念があります。

弾丸不足の解消の目処はあまり経っていないのが現状です。

▼ジビエと駆除は別物でしょうか？  
ジビエ活用に関しては、駆除目的で行っているシカを食肉にするのは品質の保持などの条件的に非常に厳しく現実的ではありません。



冬季に罠を仕掛ける桂川隊員

▼桂川隊員の今後の活動について  
過去にヒグマについての学習会などを開催しており、そうした学びの場は引き続き要望があれば作っていききたい。

・人間が自然動物と共生していくうえで、考え方を学んだり、考える機会をつくっていききたい。

・「野生動物×農業」をテーマにしたコミュニケーションづくりとして、狩猟免許の有無に関わらず、農業被害と野生動物に関心をもち人を増やす取り組みの実施も検討中。

・地域おこし協力隊としての任期後も鳥獣被害対策における村との協力体制づくりを検討中。

とのことでした。

## ▶ 北海道町村議会議員研修会



講演する田崎史郎さん

【北海道町村議会議員研修会】  
年に一度、全道の町村議会議員が札幌のコンベンションセンターに集まり開催される研修に議員一同で参加してきました。

研修のテーマは「ウクライナ危機後の世界と日本」「日本政治の舞台裏」という講演二本立てでした。

世界が混沌としているニュースも多いですが、そんな中でも議会として村のためにできることは何かあるか？を日々考えていきたいと思えます。

## ▶ エスコンフィールド視察



【エスコンフィールド視察】  
北広島市のFビレッジにある屋根開閉式の野球場を視察しました。

当日は試合のない平日にも関わらず、観光客も多く賑わいを見せていました。

足を運ぶと建物のスケール感は想像以上で、人が集まるための創意工夫が球場周辺一帯に考えられています。

桂川隊員による活動報告と委員会からの質疑応答の内容

常任委員会

▼地域おこし協力隊員としての活動  
活動ミッションは大きく分けて「鳥獣被害対策」「協議会運営」「定住取り組み」「ジビエ活用」の4つでした。

しかし、実際に多くの時間(約80%)を割いたのが「鳥獣被害対策」「協議会運営」の2つでした。

▼鳥獣被害対策の方法  
鳥獣被害対策の方法はいくつかあり、全て駆除するだけが正解ではありません。

防除で解決できる範囲かどうかを見極めることも必要な場合があります。

これまで活動を続けてきて、野生動物がもたらす「鳥獣被害の課題解決」を求める地域の声が多いたることがわかってきました。

▼自身のスキルアップ  
桂川隊員は、エゾシカ捕獲認証(レベル1)、鳥獣管理

認証(レベル1)、鳥獣管理  
また鶴居村のシカの繁殖率は年間1.2倍という全国平均よりも高い数値とされています。その理由として、牧草などの高栄養価の食事をすることによる発育環境が良いことが予想されます。

認証(レベル1)、鳥獣管理士1級(北海道内で唯一)を取得しておます。

▼被害状況の調査  
農家さんの協力のもと、牧草被害量の推定などを行い、今まで数値として曖昧だった被害状況などを、より具体的に数値化しデータ化することで、鳥獣被害の対策に農家さんと一緒に取り組む体制を現在作っています。

▼鶴居村のシカはどれくらい存在するのか？どれくらい増えているのか？  
釧路湿原調査で「シカは1kmあたりに10〜20頭生息する」というデータがあります。それを元に鶴居村の面積で計算すると5000〜1万頭になります。

また鶴居村のシカの繁殖率は年間1.2倍という全国平均よりも高い数値とされています。その理由として、牧草などの高栄養価の食事をすることによる発育環境が良いことが予想されます。

# 地域に貢献する農場を目指して

この度鶴居市街に「ベーカリーカフェ・サンライトファーム」をオープンすることになりました齊藤和弘です。どうぞよろしくお願いいたします。

私は下久著呂地区で農場を経営しており、酪農を主体としながら和牛の繁殖なども手掛け、営農を行ってまいりました。今回長年の夢でもあった農場直営の店舗を開業する運びとなり、多くの方の支援などもいただきながら6月2日に開店することができました。

店舗場所については道道53号線沿いの釧路丹頂農協鶴居給油所隣に構え、当農場の生乳や牛肉をふんだんに使った料理の提供や、道産小麦と自家製牛乳を練りこんだパンの提供などを中心に行ってまいります。

ここに至った経緯といたしましては、「鶴居で気軽にお茶ができるところが少ないよね。」とか、「これだけ酪農が盛んな鶴居に地元の牛乳が飲めるお店がなかなかない」などの声がある中で、自分としても地域に貢献できる農場でありたいと常に思う中で新規でのカフェ開業を決断いたしました。また店舗名の「サンライトファーム」についてはコロナ禍の影響や、生活物資の値上がり、それに伴って鶴居村の主産業でもある酪農に大きな打撃が生じるなど、世の中に暗い話題が多い中において、地域や酪農に少しでも明るい光で元気になってほしいとの思いで「サンライト」、地域と酪農をつなぐ第2牧場的な存在になってくれればとの思いで「ファーム」と思いを込めて付けました。



ベーカリーカフェ  
サンライトファーム  
ひらとう かずひろ  
齊藤 和弘 さん

## 住民の声



次にメニューの紹介ですが、ランチメニューの肉料理として赤身肉をじっくり焼き上げたローストビーフをガーリックライスに乗せ、鶴居産ココロ卵をトッピングした「自家製ローストビーフ丼」。牛100%なのにさっぱりとした味わいのハンバーグに自家製オニオンソースを掛けた「自家製牛100%ハンバーグプレート」。大きめにカットした牛肉をホロホロになるまで煮込んだ「ホロコロビーフカレー」。牛乳料理といたしまして、しめじとベーコンと自家製牛乳でカルボナーラソースを作りガーリック

ライスにかけてココロ卵を混ぜ合わせていただく「やみつきカルボナーラライス」。自家製牛乳でホワイトソースを作り濃厚な味わいに仕上がった「牛乳たっぷり濃いめのドリア」。その他に牛乳や牛肉が得意ではない方のために「ミートスパゲティ」も用意しています。そしてドリンクにはもちろん自家製牛乳や中標津町希望農場産小豆を標津羊羹さんで加工して頂いたあんこを使用した小豆ミルクなども用意しています。

パンについては道産小麦100%を使用し、自家製牛乳を練りこんだパンでもっちりとした食感が特徴的になっています。ここでも希望農場産のあんこを使用したあんぱんのほか10種類程度のパンを用意しています。なかなかたくさん作ることができないので数に限りがありますが、是非一度食べていただければと思います。

今後は自分が農協青年部などで知り合った人たちとのコラボ企画などを考えながら、季節のメニューや限定の商品なども考案していきたいと思います。地域の皆さんに愛される店づくりを目指し頑張っていきたいと思いますので今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

